



2023年5月15日

各位

会社名 日本精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
佐藤浩一
(コード番号7287 東証スタンダード)
問合せ先 事業管理本部 経理部
シニアマネジャー 金子基樹
TEL (0258) 24-3311

個別業績の前期実績値との差異及び為替差益の計上に関するお知らせ

2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2023年3月期第4四半期連結会計期間(2023年1月1日~2023年3月31日)につきまして、為替差益を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2023年3月期通期個別業績値(2022年4月1日~2023年3月31日)と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 111,248	百万円 △5,049	百万円 △1,983	百万円 △4,335	円 銭 △71.88
当期実績(B)	138,522	1,490	24,109	19,703	326.53
増減額(B-A)	27,274	6,540	26,093	24,039	—
増減率(%)	24.5	—	—	—	—

(2) 差異の理由

当期においては、前期における新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、海外向け製品、部品の売上が増加したことや円安の影響を受け増収となりました。また、売上増加及び原価低減活動により営業利益が増加、関係会社からの受取配当金の増加及び為替差益の計上等により経常利益、当期純利益は前期に比べ増加いたしました。

2. 為替差益の計上について

2023年3月期第4四半期連結会計期間(2023年1月1日~2023年3月31日)において、為替相場の変動にともない、為替差益1,660百万円を金融収益に計上いたしました。これは主に外貨建資産の評価により生じたものです。

なお、2023年3月期第3四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年12月31日)において、為替差損416百万円を計上していたため、2023年3月期連結累計期間における為替差益は1,243百万円となります。

以上